

令和7年度都立田無高校における教科指導の重点（3学年）

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「読むこと」の指導の充実	・教科書のみならず多種多様な文章に触れる機会を設け、言語に対する興味関心を抱かせる指導。 ・言語活動を通じて「伝え合う力」を育む指導。	・補助教材や新聞を題材とした課題作成とプレゼンテーションの実施 ・定期的な小テストの設定と学年行事とのタイアップ ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地理歴史	明るい未来を作り上げるための知識と理解力を育てる	現代の社会における問題点との関わりを意識した授業を展開する。	プリントや視聴覚教材などを利用しながら、想像力を働かせるように工夫する。
公民	主権者としての資質・能力の育成	①主体的に考察する授業展開 ②他者との対話から深めていく実践	①具体的な事例を用いた教材の開発 ②知識構成型ジグソー法による他者との協力と深める取り組み
理科	自然との関わりを重視した授業展開をおこなう。	自然との関わりを重視した授業展開を実施する。	科学館や科学イベント等の情報を可能な限り授業内で共有し、興味関心を高めるきっかけとする。
体育	スポーツの楽しさを実感する。	2年間の体育授業の集大成として、スポーツを実践することの楽しさを体感し、今後の生活の中に積極的にスポーツの関わる態度を身に付ける。	個人種目や集団種目をバランスよく取り扱い、ゲームを中心とした実践的な活動を行う。
英語	読む・聞く・書く・話すの論理の構成を言語活動を通して主体的に理解して、表現できる力を育成する。	人間教育、異文化理解教育、ことばの教育に関する題材の基礎基本の定着を図る指導。言語活動による指導。	学んだ内容を自分自身のことや世界のことと照らし合わせて、それらを説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝えるように話したり書いたりする指導。